

500円から
学べます!!

2023年度後期 白鷗大学公開講座

18講座を企画しています。裏面もご覧ください。

講座No.	講座名	学習内容	教員	日程	時間
①	90分 de 文化人類学： 神話の構造分析	文化人類学の巨人・レヴィ＝ストロースは、南米の先住民が語り継いできた神話の構造分析を通し、彼らの思想体系を鮮やかに描き出しました。その偉大な研究業績を振り返り、文化人類学の叡智に迫ってみたいと思います。	齋藤 正憲	9月25日 (月)	16:20-17:50
②	アジアを想うⅠ：東アジア	日本と朝鮮半島は隣接し、密接なつながりを持ちながらも、異なる文化を紡いできました。思想家・丸山眞男は、朝鮮半島を「洪水型」と日本を「雨漏り型」と評しました。どういことでしょうか？ぜひ、一緒に考えてみましょう。	齋藤 正憲	10月2日 (月)	16:20-17:50
③	アジアを想うⅡ：東南アジア	東南アジアは大陸部と島嶼部に大別されますが、それが地理的な区分に過ぎないと思ったら、大間違い。それぞれにおいて展開する文化は、継続（大陸部）と飛躍（島嶼部）という正反対の様相を見せるのです。その構造的な差異について、一緒に考えてみましょう。	齋藤 正憲	10月16日 (月)	16:20-17:50
④	アジアを想うⅢ：インド	吉本隆明はインドを「アジア的」だと評しました。すべてを飲み込んで、それでいて、悠然と自らの文化伝統を守る。その泰然としたさまこそが、アジア文化の本質だということです。インドの歴史や文化、宗教を眺めつつ、アジア的とは何かについて、考えてみたいと思います。	齋藤 正憲	10月23日 (月)	16:20-17:50
⑤	アジアを想うⅣ：日本	文化人類学者・山口昌男は、すべての社会は中心と周縁をもつと説きました。中心は排他性、周縁は内包性が、それぞれの特徴であるということです。このような知見を、沖縄のシャーマニズムに敷衍してみますと、「周縁の力」のようなものに気づかされます。ひょっとすると、これこそが「アジア的」ということの真髄なのかも知れません。	齋藤 正憲	10月30日 (月)	16:20-17:50
⑥	学び直し・高校世界史 (西洋古代)	混迷を深める世界情勢を前に、ただ呆然と、途方に暮れていらっしゃる方も少なくないのでは？そんな状況だからこそ、高校の世界史を学び直すことが有益なのではないでしょうか？第1回目は、人類の誕生から古代ローマ帝国の滅亡までを振り返ってみたいと思います。	齋藤 正憲	11月6日 (月)	16:20-17:50
⑦	学び直し・高校世界史 (西洋中世)	「ローマの平和」を謳歌した西洋世界は、東西に分裂し、とりわけ西ヨーロッパは停滞期に突入します。そんな雌伏の時を過ごしながら、西洋は近代への飛躍へと向かっていくのです。今回はヨーロッパ中世を振り返ります。	齋藤 正憲	11月13日 (月)	16:20-17:50
⑧	学び直し・高校世界史 (西洋近代)	大航海時代はヨーロッパと「中世の覇者」たるイスラームとの力関係を逆転させました。現代にまで直結するヨーロッパ近代を振り返ってみたいと思います。	齋藤 正憲	11月20日 (月)	16:20-17:50
⑨	法学入門	法律の役割、裁判との関係、条文の読み方、判例の中身について、法学部新生向けの法学入門を再現した講義内容となります。	清水 晴生	10月4日 (水)	13:15-14:45
⑩	ストーカー・DVについて	身近な法律がどのような内容で定められ、それはどのような理由からなのか。ストーカーやDVを規制する法律を素材に勉強します。	清水 晴生	10月11日 (水)	13:15-14:45
⑪	「取締役」とは何か？	株式会社の経営を担う「取締役」はどのような力を持っているのでしょうか？そしてその「取締役」はどのように監視されるべきなのでしょうか？みなさんとともに考えてみたいと思います。	白石 智則	10月11日 (水)	10:40-12:10
⑫	「M&A」とは何か？	会社は、「M&A」（企業の合併・買収）によって大きく（時に小さく）なります。この「M&A」とは、どのようなものなのでしょうか。また、最近やたらと増えている「ホールディングス」とはどのような意味なのでしょうか。本講座では、これらのナゾを明らかにしていきたいと思います。	白石 智則	11月8日 (水)	10:40-12:10
⑬	「長い19世紀」・「短い20世紀」・「短すぎた21世紀」	「長い19世紀」・「短い20世紀」・「短すぎた21世紀」という概念を手がかりに、近代と現代という二つの時代の西洋史上の特徴を明らかにします。	小島 望	11月9日 (木)	10:40-12:10
⑭	相続に関する最高裁判例を学ぶ	相続に関しては様々な紛争がありますが、この講座では、相続「法」に関する過去の最高裁判所の判例について、①どのような点について争われたか（当事者の主張）、②裁判所がどのような判断を下したのかの2点を中心にご紹介します。また、判例を理解していただくために、判例の争点に関連する相続法の基礎知識についてもお話しします。	川上 生馬	11月20日 (月)	10:40-12:10

⑮	相続に関する紛争事例から学ぶ	相続に関する具体的な紛争事例について、どのような解決がこれまで図られてきたのかを中心に取り上げます。講座では、問題を提示し、各自で少し考えていただく時間をとってから、解説を行います。	川上 生馬	11月27日 (月)	10:40-12:10
⑯	国の財政の仕組みを知ろう	経済や金融はわかる、でも「財政」はわからないとの声を耳にします。全体を知れば、財政の中核である社会保障や防衛、公共事業などが理解できます。基金や予備費などわかりにくい問題も取り上げます。	藤井 亮二	11月22日 (水)	10:40-12:10
⑰	地方自治体の財政の仕組みを知ろう	地方自治体が行っている施策には必ずおカネの裏付けがあります。おカネの観点から地方行政の仕組みを学びます。ふるさと納税や宿泊税・産業廃棄物税など、地方財政ならではの問題も取り上げます。	藤井 亮二	12月6日 (水)	10:40-12:10
⑱	国の「令和6年度(2024年度)予算」はどうなるのか?	国の予算は1月下旬に国会に提出されます。参議院予算委員会調査室でのノウハウを生かし、国会での予算審議よりもいち早く、来年度の国の予算のポイントと私たちの生活にどのような影響が出てくるのかをお話しします。	藤井 亮二	1月17日 (水)	10:40-12:10

一般の方のお申し込み

申し込み締切は各講座の開講の1週間前までです。それぞれの講座の期限日必着でお願いいたします。

【お申し込み方法】

メールまたはファックスで〈以下の内容を明記してご送付ください〉

①受講を希望する講座No.と講座名(お一人様何講座でも申し込めます)

※注意※正確な講座名をご記入ください。

②氏名(フリガナ) ③〒・住所 ④連絡先の電話番号・FAX番号 ⑤一般か卒業生かをご記入ください。
(本学卒業生の場合は卒業学部・学科、在学中と姓が変わった方は旧姓もご記入ください。)

※メールまたはファックスいずれもご使用になれない場合は、下記申し込み先へのハガキでのお申込みも受け付けます。
なお、郵送で「受講手続きのご案内」を送付する場合は、到着が開講直前となることもありますので、ご了承ください。

【お申し込み先】

メール：chiikikouza@ad.hakuoh.ac.jp

ファックス：0285-20-8161 公開講座係

〒323-8586 小山市駅東通り2-2-2 白鷗大学 地域連携サポートセンター 公開講座係

【受講料】1講座90分：500円(税込)

希望者が5名に満たない場合は、開講を中止しますのであらかじめご了承ください。

メール等の申し込みが到着し、それぞれの講座が、5名以上となった状況で開講決定です。

決定後、「受講手続きのご案内」を送付します。(メールまたはファックスで)

ご案内に記載する方法で、開講までに受講料のお支払いをお願いします。

なお、ご本人の都合によるキャンセルの場合、一旦お支払いいただいた受講料は返金いたしかねます。

【教室について】

教室は「受講手続きのご案内」でお知らせいたします。※全講座本キャンパスでの開講予定です。



本キャンパス

小山市駅東通り2-2-2 (JR小山駅東口前)

※駐車場はありません

【お問合せ先】

白鷗大学 地域連携サポートセンター

直通電話 0285-20-8114 (平日のみ9:00~16:45)

本学教職員・学生は無料で受講できます。お申し込みは、本キャンパス本館3階地域連携サポートセンターへ。